



函南町の子どもたち

函南町教育委員会

令和5年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の函南町立小中学校の調査結果について、概要をお知らせします。本調査は小学校6年生、中学校3年生を対象に実施し、今年度は国語、算数(数学)、中学校3年生のみを対象に英語の3教科について調査しました。

教科に対する調査結果や、生活や学習のようすに関する児童生徒質問紙調査結果から、函南町の子どもたちのよいところや今後の課題についてまとめました。本町の調査結果についてお知らせすることにより、保護者の皆様をはじめとする家庭・地域・学校が連携して、子供たちの生活や学習状況を改善していきたいと考えています。

なお、本調査から読み取れることは、児童生徒の学力の一部であり、学校の教育活動の一側面であることをご承知おきください。

教科に対する調査結果から

全国の平均と比べたときの差
 「◎」…全国より高い 「○」…やや高い
 「□」…ほぼ同じ 「△」…やや低い 「▲」…低い

【小学校:国語】

全体正答率	△
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	△
(2) 情報の扱い方に関する事項	△
A 話すこと・聞くこと	△
B 書くこと	□
C 読むこと	□

【小学校:算数】

全体正答率	△
A 数と計算	△
B 図形	△
C 測定	□
C 変化と関係	□
D データの活用	□



- ◇ 小学校国語では、平均正答率が全国平均をやや下回っているという結果でした。「書くこと」、「読むこと」の領域では、全国とほぼ同じでした。
- ◇ 小学校算数では、平均正答率が全国平均をやや下回っているという結果でした。「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域では、全国とほぼ同じでした。

【中学校:国語】

全体正答率	△
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	△
(2) 情報の扱い方に関する事項	▲
(3) 我が国の言語文化に関する事項	△
A 話すこと・聞くこと	△
B 書くこと	△
C 読むこと	△

【中学校:数学】

全体正答率	▲
A 数と式	▲
B 図形	△
C 関数	△
D データの活用	△

【中学校:英語】

全体正答率	△
(1) 聞くこと	△
(2) 読むこと	△
(3) 話すこと[やり取り]※	□
(4) 話すこと[発表]※	○
(5) 書くこと	□

※話すことについては別実施のため、全体正答率に含まれません。

- ◇ 中学校国語では、平均正答率が全国をやや下回りました。情報の扱い方に関する事項で特に課題が見られました。
- ◇ 中学校数学では、平均正答率が全国を下回りました。数と式の領域で特に課題が見られました。
- ◇ 中学校英語では、平均正答率が全国をやや下回りました。「話すこと」の領域では[やりとり]で全国とほぼ同じ、[発表]では全国をやや上回りました。

◇◇できているところ◇◇

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること

★★今後伸ばしたいところ★★ 情報と情報との関係付けの仕方、 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する力

- 1 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

【資料3】 相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることで、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のよう、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主に**エネルギーのもと**になります。

肉や卵などは、主に**体をつくるもと**になります。

筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。

野菜や果物などは、主に**体の調子を整えるもと**になり、**病気にかかりにくく**なります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

主にエネルギーのもとになる		
		米、パン、バターなど
主に体をつくるもとになる		
		肉、卵、牛乳など
主に体の調子を整えるもとになる		
		野菜、果物など

【小学校】2
三 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話を聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、その番号を何を書きましよう。1から4までの中から一つ選んで

【正答】
4

「2」と解答している人が多くいました。重要な言葉を整理していることは理解できていますが、語句と語句との関係を捉えることができていなかったと考えられます。



POINT

- ◇パンフレットや説明書など、必要に応じて普段から様々な文字情報に触れる。
- ◇複雑な情報から、目的に応じて必要だと判断した語句を囲んだり、語句と語句をつなげたりする。

◇◇できているところ◇◇

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討すること
- 事象や行為、心情を表す語句について理解すること
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと

★★今後伸ばしたいところ★★

具体と抽象など情報と情報との関係について理解する力

【正答の条件】
 ①内容のまとまりを分ける箇所として(ウ)を選んでいる。
 ②後半のまとまりに付ける見出しを「『判じ絵』の歴史」
 「『判じ絵』の起源と広がり」のように解答している。

(ウ)を選択できたものの、内容に合う見出しをつけることができなかつた人が多くいました！

三 山田さんは、「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章の内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

【判じ絵】について
山田 光一

1. はじめに
 学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法
 学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か
 「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解釈して楽しむものである。
 (ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解釈する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。(イ) 言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■「判じ絵」の解釈の面白さ
 「判じ絵」の解釈の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】 スズメ

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解釈すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図3】

【図3】は、

【中学校】③
 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。「これを読んで、あとの問いに答えなさい。」

POINT

- ◇「具体」と「抽象」という言葉の意味を国語辞典などで調べて確認する。
- ◇身近な情報の中から「具体」と「抽象」の関係を見つけ、説明する。
 (例) 献立表では、「ごはん」や「コッペパン」は具体で「主食」は抽象といえる。
 四角形という抽象の具体例には正方形や長方形などがある。 など



算数

※ 令和5年度全国学力・学習状況調査問題より抜粋。紙面の都合上、調査問題の一部を変更、修正しています。

◇◇できているところ◇◇

〇一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすること。
 〇伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。

★★今後伸ばしたいところ★★

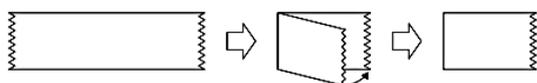
図形の意味や性質について理解する力

【小学校】2

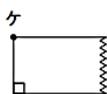
(3) えいたさんは、下のような作り方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



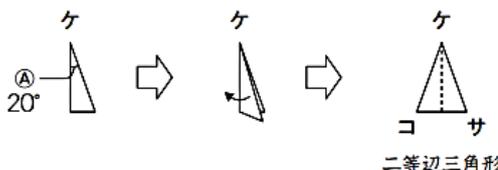
④ 開くと三角形ができました。



ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下のAの角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



わたしは、Aの角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、Aの角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするために、Aの角の大きさを何度にすればよいですか。

【正答】30

「40」と答えた人が多くいました。Aの大きさ「 20° 」は変わらないと捉えたと考えられます。また、「45」と答えた人も一定数いました。正三角形を直角のある三角形と誤って捉えたり、直角を半分にしたと捉えたと考えられます。



POINT

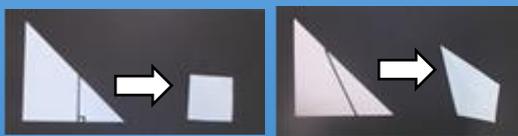
◇図形の定義や性質を操作や観察と関連させて考える。

(例) おりがみを1本の直線で切ってで様々な四角形をつくる。なぜその図形と言えるのか説明する。



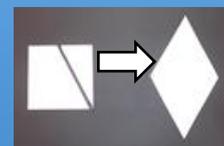
長方形 台形

1回折ってから切る



正方形 たこ形

2回折ってから切る



ひし形

◇◇できているところ◇◇

○問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる

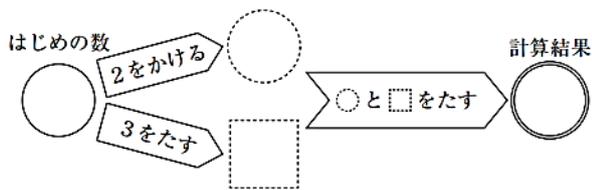
★★今後伸ばしたいところ★★

結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つことを見だし。説明する力

【中学校】⑥

次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

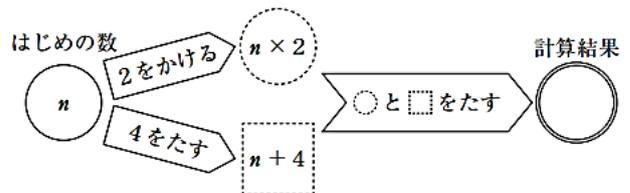
図1



(3) 夏希さんは、図1の「2かける」のかける数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を4の倍数である「4」や「8」に変えれば、計算結果がいつでも4の倍数になると考えました。そして、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」と予想しました。

そこで、夏希さんは、はじめの数として入れる整数を n とし、図3をかき、右のように計算しました。

図3



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。計算結果は、

$$\begin{aligned} & n \times 2 + (n + 4) \\ &= 2n + n + 4 \\ &= 3n + 4 \end{aligned}$$

計算結果が $3n + 4$ となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。

上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数にける数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも4の倍数になると予想できますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。

【正答の条件】

「○○ならば、◇◇になる。」という形で、次の(a)、(b)をについて記述しているもの。

- (a) ○○が、「初めの数にける数が●、たす数が4」（●は4の倍数から1引いた数）である。
 (b) ◇◇が、「計算結果はいつでも4の倍数」である。

前提の条件があっていない解答や、無回答が多く見られました。長い文章から問題場面を把握できなかつたり、成り立つ事柄を見いだすことができなかつたりと考えられます。



POINT

- ◇あることが成り立つ場面で、前提を変えた場合にどのような結果になるか予想する。
- ◇予想した事柄が成り立つかどうかを、具体的な数や文字式を用いて調べる。
- ◇予想が成り立たない場合も、その理由を考え、結論が成り立つための条件を考える。

英語（中学校）

※ 令和5年度全国学力・学習状況調査問題より抜粋。紙面の都合上、調査問題の一部を変更、修正しています。

◇◇できているところ◇◇

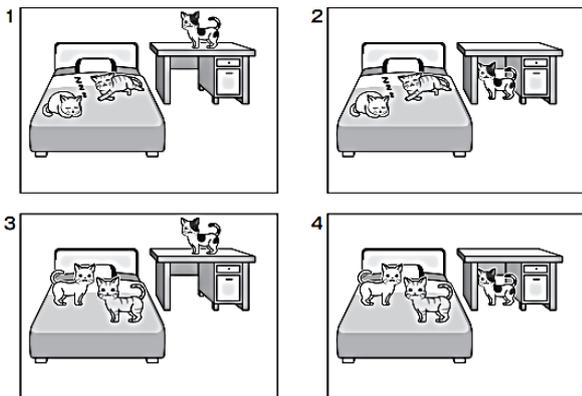
- 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること
- 日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うこと

★★今後伸ばしたいところ★★ 情報を正確に聞き取る力

【中学校】1

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



<スクリプト>

Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk. And the other cats are on the bed. They are sleeping.

【正答】2

他問題と比べ、正答率は低くありませんが、全国を大きく下回りました。「1」と答えた人が多くいました。場所を表す前置詞を聞き分けることができていると考えられます。



日常的な話題について、短い文章の概要を捉える力

【中学校】7

次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」につえ書いたものです。これを読んで以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(2) しおりさんが書いた英文の概要（文章全体の大まかな内容）として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

【正答】1

「3」と解答した人が多くいました。英文全体の主題と各段落の主な内容が過不足無く含まれているかを判断することに課題があると考えられます。

POINT

- ◇ICTなどを活用し、自然な速さで話される音声になれる。
- ◇短い説明やエッセイなどの文章全体を読んだうえで、大まかな内容を把握する。

生活や学習のようすに関する児童・生徒質問紙調査結果から

全国の平均と比べたときの差

「☆☆」…良好 「☆」…やや良好 「□」…ほぼ同じ 「★」…やや課題 「★★」…課題

◇自分を肯定的に捉えている児童生徒は高い割合となっています。この要因の一つは教師が自分のよいところを認めてくれていると捉えている割合の高さだと考えられます。また、また、「困っている人を助けたい」という思いやりの心が育っています。

◇計画的に学習を進めていると考えている児童生徒は全国を上回っています。中学生は、平日1時間以上の学習をしている生徒が全国と比較して多く、学習習慣が身についている生徒が多いと言えます。一方で小学生は学習時間が全国と比較して短い児童が多いことと、読書が好きという児童が少ないことは課題といえます。

質問内容	小学校 6年生	中学校 3年生
自分には、よいところがあると思う	☆☆	□
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	☆☆	☆
人が困っているときは、進んで助ける	☆☆	☆
家で自分で計画を立てて勉強をしている	☆	☆☆
平日の学習時間(1時間以上)	★★	☆☆
読書は好き	★★	☆
今住んでいる地域の行事に参加していますか	★★	★
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	☆☆	★★
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う	☆☆	★★
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う	☆☆	★★
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	☆☆	★★



◇小学生においては、地域や社会をよくするために何かしたいと考えている児童が全国を上回っています。コロナ禍で自粛されていた地域の行事が再開してきています。今後、地域のつながりを大切に、地域の一員としての自覚がもてるとよいです。

◇国際交流についての項目で、小学生と中学生の差が顕著でした。小学生が全ての項目について全国を上回っているのに対し、中学生は全ての項目で下回りました。国際化、多様化の進む中で、国際交流への意識の向上も課題といえます。